

野村 万作・萬齋

狂言公演 (狂言三代)

うおせつぼう
魚説法

室町時代から今に息づく、「笑い」の芸術

こぬすびと
子盗人

かづもう
蚊相撲



野村万作



野村萬齋

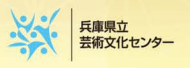


野村裕基

2026 11/10 (火)・11 (水) 各日 2:00PM 開演 (1:30PM 開場) A席 6,000円 B席 4,000円 (全席指定・税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口脇/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売 6/21(日) チケット予約 ●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp> 芸術文化センター会員先行予約受付開始 6/20(土)
●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>



直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [6/23(火)より、残席がある場合のみ] ※プレイガイドでの取扱については各プレイガイドにお問合せください。 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、内容・出演者等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

撮影：政川慎治

野村 万作・萬齋

狂言公演

狂言三代

芸術文化センター毎年恒例、芸術の秋を彩る狂言会。

芸歴九十年を超える人間国宝野村万作を筆頭に、狂言にとどまらず映像・舞台と幅広く活躍し圧倒的な存在感を放つ野村萬齋、成長著しく次世代を担う期待の若手・野村裕基と、三代揃って、室町時代から続く「笑い」の芸術をお届けします。

野村萬齋による解説付きで、初めての方にも安心して、御覧になったことがある方にはより深く、お楽しみいただけます。秋の昼下がり、おほかたであたたかい笑い、狂言の世界に触れてみませんか。

解説 野村萬齋

大名 野村 裕基

太郎冠者 高野 和憲

蚊の精 野村太一郎

新発意 野村 万作

施主 内藤 連

博奕打 野村 萬齋

乳母 中村 修一

何某 深田 博治

あらすじ

蚊相撲

大名が新しい召使を抱えようと、太郎冠者に探しに行かせる。そこへ、都に上り人の血を吸うため、人間の姿になった江州守山の蚊の精が通りかかり、正体に気づかない太郎冠者は蚊の精を連れ帰る。新しい召使は相撲が得意と聞き、喜んだ大名は早速取らせて見たいと思うが、相手がいないのでやむなく自身で相手をする。蚊に刺されて目を回してしまふ。蚊の正体に気づいた大名は、勝つためにあるものを持ち出すのだが…。

人間である大名と蚊の精が相撲をとるといふ、何とも奇想天外な作品です。大らかな大名と、蚊の特徴がデフォルメされた蚊の精の動きにご注目下さい。

魚説法

堂を建立した施主が、堂供養を頼もうと寺を訪ねる。しかし住持が留守のため、留守番の新発意(しんぼち・出家して間もない修行中の僧)が説法を頼まれる。お布施欲しさに引き受けた新発意だが、実は一度も説法をしたことがない。子供の頃浜辺に住んでいた新発意は、知っている魚の名前を連ねてごまかすことにする。いよいよ説法が始まるが…。

みごとに魚の名が織り込まれた説法が聞きどころです。洒落の効いた言葉遊びが楽しい狂言です。

子盗人

博奕に負けて無一文になった博奕打が金持ちの家に忍び込み、座敷で茶道具などを物色するうちに、赤ん坊が眠っているのに気付く。目を覚ました赤ん坊をあやすのに夢中になっていると、気付いた乳母が驚いて主人を呼ぶ。刀を抜いた主人に追い詰められた盗人は、たまたま赤ん坊を盾にしようとするのだが…。

案外気のいい盗人が、一生懸命赤ん坊をあやす姿が微笑ましい。赤ん坊をあやす言葉や所作には中世の風俗が現れています。



のむら まんさく
野村 万作

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。文化勲章受章。祖父 故初世野村萬齋及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ・大ウシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ジャパンソサエティ賞、NHK放送文化賞等、多数の受賞歴を持つ。月に憑かれたピエロ『子午線の祀り』『秋江』『法螺待』『敦一山月記』名人伝』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。



のむら まんざい
野村 萬齋

1966年生。祖父 故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ごさる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台



のむら ゆうき
野村 裕基

1999年生。野村萬齋の長男。祖父 野村万作及び父に師事。慶応

義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。3歳の時に『靉猿』で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演。修業を続け、『三番叟』『奈須与市語』『釣狐』を抜き、「万作の会」の若手狂言師の一人として舞台をつとめている。世田谷パブリックシアター『ハムレット』『能狂言』鬼滅の刃』で重要な役を演じるなど、活動の場を広げている。

便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

- ◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
 - ◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
- ※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら

